

*** ご紹介します ***

ありがとうございました

< 学校支援ボランティア >

週 2 日間 2 時間ずつ国語・算数を中心に学習支援のお手伝いをいただいています。



井上千代子さん 伊東美和子さん

< 学校図書館支援員 >

毎週水曜日に、図書館関係のお手伝いをいただいています。



船木真理子さん

~ 東日本大震災
義援金募金 ~

4月22日に行ったPTA募金では、25,012円集まりました。県Pへ送金させていただきました。

PTA親子早朝除草ありがとうございました。

5月8日(日)に行われたPTA環境部主催の親子早朝除草に大変多くの保護者の皆様から参加いただきました。大変ありがとうございました。

きれいになったグラウンドで子どもたちは、22日(日)の運動会に向け競技や応援練習に一生懸命取り組んでいます。



<p>< 4月の生活目標 > 進んであいさつをしよう ・すすんで「おはよう・さようなら・こんにちは」を言おう ・「さん」で呼び合おう ・言葉遣いに気をつけよう</p>	<p>< 5月の生活目標 > ろうかは「はさみ」(ろうかは はしらず・さわがず・みぎがわを 静かに歩く) 3分前行動(時計を見て行動する・放送が入ったら行動する)</p>
<p>自分のあいさつを振り返り、あいさつのめあてを決めて、元気のよいあいさつをしました。 ・学年ごとに、児童玄関前でのあいさつをしました。 ・相手を大事にする言葉として、「さん付け」と「優しい言葉遣い」を心掛けていました。</p>	<p>自分のために・みんなのために気を付けている姿が当たり前になりました。 ・「廊下ははさみ」を合言葉にして、声を掛け合って静かに歩いています。 ・「3分前行動」と、これも声を掛け合って、教室や集合場所に行っています。</p>
<p>こんなすてきな「あなたの紫雲寺小学校」にぴったりな行動を見つけました。 新しい1年生が入学してきて、毎朝みんなと一緒に登校班で登校しています。登校班の班長さんは、初めて通学路を歩く1年生の歩幅やスピードに合わせて、ゆっくり歩いてくれます。中には、後ろ向きで1年生の様子に気配りしながら歩いてくれる班長さんもいます。ありがたいです。 また、登校班の班長さんは、学校に着いてから、1年生が慣れるまで、下駄箱や雨具掛けやロッカーの使い方を教え、机の中のお道具箱に教科書やノートを入れるのを手伝ってくれました。1年生の初めての学校生活のスタートを支えてくれました。</p>	

〔 5月の予定 〕

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 18日(水) 運動会予行、内科検診(1~3年) | 24日(火) 運動会予備日 |
| 22日(日) 運動会 | 25日(水) PTA理事会 |
| 21日(月) 振替休日 | 26日(木) 避難訓練(火災想定) |

〔 6月の予定 〕

- | | |
|--|-------------------------|
| 6日(月) 2年校外学習(マリンピア) | 14日(火) 5年校外学習(岩船港) |
| 7日(火) 口座振替日 | 15日(水) 6年修学旅行(佐渡: ~16日) |
| 9日(木) 授業参観日(5校時)
同和教育の視点に立った道徳
同和教育に関する講演会 | 17日(金) 4年校外学習(新潟市) |
| 10日(金) 1年心臓検診、眼科検診 | 22日(水) 虫歯予防教室 |
| | 29日(水) 耳鼻科検診 |



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより 5月号

<http://shionjies.shibata.ed.jp> 平成23年5月13日

自分を大切にできる子に

紫雲寺小学校長 小林 幹雄

さわやかな季節になりました。少し前は肌寒さを感じたのですが、気温も上がり、この頃は初夏を感じさせる日さえあります。木々の芽が一斉に芽吹き、チューリップやハナミズキは今が盛りと咲き誇っています。自然界の対応能力の高さには驚くばかりです。

一年生も入学して一ヶ月が過ぎました。4月当初はやけに大きく見えたランドセルも今ではすっかり馴染んできました。玄関前でも元気に「おはようございます」と挨拶をしてくれます。授業中や休み時間の様子を見ても、学校生活にすっかり慣れたようで、安心していきます。環境は人を作ると言いますが、人間の対応能力もすばらしいものです。

22日は運動会です。今、子どもたちは「仲間と勝利のバトンをつなげ、戦え赤白」のスローガンのもと、一生懸命練習に取り組んでいます。集団行動の仕方や協力し合うことの大切さなど、運動会練習は体験を通して学ぶ大切な場です。子どもたちが、「できるようになった喜び」や「人の役に立てた喜び」を実感できるように指導をしています。運動会を経て子どもたちがさらに成長することを確信しています。

4月の学校説明会で、自分を大切にできる子にしたいと話しました。(自己肯定感を育てるとも言います。) そのためには、人から感謝されたり、役割を与えられたりする経験が大切です。

『5年生の頃は自分のわがままを押し通し、まわりの子どもたちともめることが多かったAさん。6年生になって、縦割り班の班長として1年生と接することが多くなりました。入学式で手をつないで入場したり、給食や清掃はもちろん、朝や休み時間にも1年生と遊ぶことも多くなりました。1年生から「お兄ちゃん」と慕われ、頼られるようになりました。先生方や地域の人からも「がんばっているね」「ご苦労さん」と声をかけられることが多くなりました。すると、Aさんは1年生だけでなくまわりに対してもやさしく接するようになって、わがままを押し通すことが少なくなっていきました。』

これは、まわりから認められ、自己肯定感が高まった例です。反対に、「だからおまえはダメなんだ」と否定されたり、無視されたりする経験は自尊心が傷つき、「どうせ自分なんか」と自己否定の感情が強くなってしまいます。

大人は、子どもを認めて、ほめて、信じて、寄り添っていく存在でありたいですね。

運動会に向けて、今年はファミリーで旗を作りました。各班のめあてやメンバーを書き込み、全員で協力して作りました。運動会当日に披露しますので楽しみにしてください。運動会に向けて、気力・体力が大切です。ご家庭でも子どもたちがしっかり食べて、しっかり眠るようにしていただければと思います。

紫小健児のパワー全開の運動会です。どうぞ温かい声援、応援をお願いします。

紫雲寺小学校の教育について

4月22日の学校説明会でお話しました平成23年度の「グランドデザイン」を基に、知・徳・体の3つの重点目標を設定して取り組んで参ります。ここでは、具体的な取組と、目指す子ども像についてお知らせします。保護者や地域の皆様と連携・協力しながら、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に努めて参ります。

〔知育〕互いに考えをわかりやすく伝え合う子

＜取組の構想＞

- (1) 学習過程に自分の考えを表現する機会を設け、児童一人一人が学習に参加し、考えが深まったと実感できる授業・学び合いのある授業づくりに全校体制で取り組みます。
- (2) 指導と評価を一体的に進め、評価結果を補充指導や次の指導に生かし、学級や個のつまずきを見逃さず、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指します。

＜目指す子ども像＞

- (1) 自分の考えをわかりやすく話すことができる児童の割合が75%以上
- (2) 相手の話を正しく聞き取ることができる児童の割合が75%以上

＜具体的な方策＞

- (1) 学年の発達段階に応じた話す型、聞く型のモデル像を示し、強調期間や単元を設け「話す力」と「聞く力」を高めていきます。2ヶ月に1回程度スキルの見直しを行い工夫改善を行います。
- (2) ティーム・ティーチングや学校支援ボランティアを効果的に活用し、個に応じた指導・支援の充実を図ります。学力調査やWebテストの活用と中学校区の学力向上プロジェクトと連携した取組を推進します。

〔徳育〕差別を許さず、互いに認め合う子

＜取組の構想＞

- (1) 差別せず、だれとでも分け隔てなく接することができる児童を育てます。
- (2) 児童一人一人の自己肯定感を高め、自他のよさやがんばりを認め合い、協力し合える児童を育てます。

＜目指す子ども像＞

- (1) 差別せず、分け隔てなく接することができる児童の割合が85%以上

＜具体的な方策＞

- (1) 授業研究を通して、同和教育の視点に立った道徳の授業改善に全職員で取り組みます。P教養育成部と共催で同和問題に関する講演会を開催し、家庭への理解と行動連携を進めます。
- (2) ファミリー(縦割り班)を教育活動の中核に位置付け、ピンスリットによる学校・児童会行事や構成的グループエンカウンター、人間関係スキルなどを取り入れたファミリープレタイムを計画的に実施します。

〔体育〕自らの健康を考え、体づくりをする子

＜取組の構想＞

- (1) 学年間・男女間にみられる体力差の克服、筋力・走力の向上によるバランスのとれた体力向上を目指します。
- (2) 十分な睡眠時間の確保を中心とした生活リズムの改善を目指します。

＜目指す子ども像＞

- (1) 体力テストの筋力・走力で、学年平均値が県平均値を上回る項目数の割合が50%以上を目指します。
- (2) 健康のために生活リズムの改善が見られた児童の割合が80%以上を目指します。

＜具体的な方策＞

- (1) 筋力・走力の向上を目指し、学級や個の実態に応じた体力アッププログラムを作成し、体育の時間を中心に運動の楽しさを味わわせながら実践改善していきます。
- (2) 「げんきアップ週間」を設け、「元気チャッカド」を基に担任や家庭と連携して取り組みます。P保体部と共催で生活リズムに関する講演会を開催し、家庭との行動連携を強めていきます。

以上、今年度、紫雲寺小学校で力を入れていく点について説明をさせていただきましたが、保護者・地域の皆様との連携無しには、到底目標の達成はできません。ぜひ皆様と力を合わせ、地域の宝である子どもたちの力を伸ばしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

ファミリー顔合わせ会・ファミリー旗づくり

紫雲寺小学校の特色ある教育活動の一つであるファミリー（縦割り班）活動が始まりました。4月20日に顔合わせ会（誕生会）を行いました。ファミリー活動のめあてを確認した後、ファミリーごとに自己紹介をし、班の名前やめあてを決めたりしました。5月9日には、班ごとの旗づくりをしました。みんなでデザインを考え色付けもしました。運動会でそれぞれの旗の紹介が計画されています。

これから1年間ファミリーを単位とした、日常の清掃活動やファミプレ、運動会やファミリー遠足などの学校行事や児童会行事などの活動を通して、リーダーシップや一人一人の自己肯定感を高めながら、互いのよさを認め合いながら、自他を大切にすることを育んでいきます。



<ファミリー活動めあての確認> <班の名前やめあての話し合い> <ファミリー班の旗づくり>

交通安全教室（4 / 27）

交通安全指導員の皆様、稲荷岡・米子駐在様、交通安全母の会の皆様など、大変多くの皆様からご指導いただきました。各学年の発達段階に応じた交通安全のお話を聞いたりやビデオを見たりしました。その後、体育館に設けられたコースを使って、1・2年生は安全な歩行や横断の仕方について、実際にやりながら教えてもらいました。また、3・4年生は自転車を使った実技指導が行われました。今回の交通安全教室で教えてもらったことを守って事故に遭わないように願っています。

また、学校では、自転車に乗れる範囲は決めておりません。各家庭でお子さんの運転技術等を基に考え話し合いをして決めていただけたらと思います。



<対面式>



<横断歩道の渡り方>



<交通安全についての講話>



<自転車実技講習>

田植え（5 / 11）

5年生が学校田にコシヒカリと紫米の苗を植えました。当日は、JA北越後の石黒さんや入倉喜八郎様をはじめとする米作り委員の皆様や保護者など16名の皆様からご協力いただきました。

初体験の児童も多く、泥だらけになりながらも歓声を上げながら楽しく田植え体験をしました。



<粹転がし>



<初めての苗植え>

